

の方々をご紹介します。(敬称略)



寄付事例

皆様の環境保全への思いをかたちに
する地球環境基金への募金活動。そ
の一例をご紹介します。

「永久不滅ポイント」を利用して ご寄付いただけます

株式会社クレディセゾン

「永久不滅ポイント」は、セゾンカード・UCカード
会員を対象とした、ショッピングご利用金額に応じて
貯まるポイントを、お好きなアイテムと交換できる有
効期限のないポイントプログラムです。株式会社クレ



永久不滅ポイントアイテムカタログの
他に、ウェブサイト (<http://www.eikyu-fumetsu.jp>) にも掲載されています

ディセゾン (本社：東
京都豊島区) は、永久
不滅ポイントのポイン
ト交換アイテムとし
て、国内外の慈善団体
に寄付をすることがで
きる「チャリティプラン」を展開しており、
2010年5月1日から、
地球環境基金がその寄
付先の一つに加わりま
した。

また、同社は群馬
県 赤城山西麓の約
120ヘクタールに及
ぶ「赤城自然園」の運
営を通じて自然環境
保全活動にも取り組
んでいます。同園は
昨年3月に閉園した
ものの、再開園を求
める多くの声を受け



赤城自然園 (<http://akagishizenen.jp/>)
群馬県渋川市赤城町南赤城山892
開園期間：4月～11月

て株式会社クレディセゾンが運営を担い、今年4月2
日より再開園いたしました。シャクナゲの有名な「セゾ
ンガーデン」の他、野山の草花がのびのび育つ環境をつ
くる「四季の森」と「自然生態園」の3つのエリアがあり、
本来の森の姿を守ることによって環境の保全と生物多様性の
保全に努めています。

感謝状「ほし」贈呈者の活動

地球環境基金では、一定額以上のご寄付をしていただいた方へ、感謝状を贈呈しています。

日本カートリッジリサイクル工業会

日本カートリッジリサイクル工業会は、トナーカート
リッジのリサイクルを推進する企業会員 (正会員：33社、
賛助会員：21社) で構成され、「地球温暖化抑制のための
3R (Reduce, Reuse, Recycle) の推進」などの方針に基づ
き活動する工業団体です。



独自の環境ラベル「トナーカート
リッジ・リユースラベル」

同工業会は独自の環境ラ
ベルを定め、会員に販売し
て会の活動資金等に充当し

ています。この度、
その売り上げの一部
を地球環境基金にご
寄付いただき、感謝
状の贈呈条件を満た
したため、感謝状「ほ
し」を贈呈させてい
ただきました。



当機構理事長の湊より日本カートリッジリサイ
クル工業会の浜谷会長に感謝状を贈呈しました

(平成22年4月22日贈呈)

※感謝状「ほし」贈呈要件 個人：地球環境基金に20万円以上のご寄付をしてくださった方、または累計で50万円以上のご寄付をしてくださった方。 団体：50万円以上のご寄付をしてくださった団体、または累計で100万円以上のご寄付をしてくださった団体。



パンフレット・ 広報誌設置のご協力

地球環境基金の助成団体や寄付者を紹介するパンフレットや広報誌が、より多くの方々に届くように応援してくださっています。

食を通じて環境に配慮したライフスタイルを

財団法人国民公園協会

皇居外苑、京都御苑、新宿御苑の維持管理、利用者サービスを行う財団法人国民公園協会では、公園内の休憩所などにおいて地球環境基金のパンフレットと広報誌「地球環境基金便り」の設置にご協力いただいております。

また、環境と調和した施設運営を目指す同協会では、環境保全のための様々な活動にも取り組んでいます。



地球環境基金のパンフレット・
広報誌を設置いただいています
(写真は楠公レストハウス内)

皇居外苑の楠公レストハウスにおいては、食と環境をテーマに「エコクッキング(*)」や「生ゴミ処理機での堆肥化^{たいひ}」、「廃油リサイクル」などを実施。中でも、エコクッキングは環境省のチャレンジ25キャンペーンの一つとしても注目されています。

*「食」を通じて、「身近な題材で、環境問題を体験的に楽しく考える」というコンセプトのもと、買い物から調理方法、片付けに至るまで環境に配慮する食生活のこと。(エコクッキングによる新宿御苑の「エコドライブカレー」については、「地球環境基金便り」28号に掲載されています)

のの一つとして注目されています。

楠公レストハウスで8月1日から提供が



8月1日から提供された「江戸エコ行楽重」(予約制)

開始された「江戸エコ行楽重」は、かつて同地は江戸城があったということにちなみ、循環型社会といわれる江戸時代の食生活をお手本として、旬の食材、地産地消の野菜や魚を使用し、当時の文献などをもとにエコクッキングで再現したものです。散策や観光、修学旅行などで各地からのお客様でにぎわう皇居外苑。江戸の食文化を通じて環境に配慮したライフスタイルを提案しています。

感謝状「みどり」贈呈者の活動

地球環境基金では、より多くの寄付者の皆様に感謝の意を表すため、感謝状「ほし」に加え、一定条件(*)を満たすご寄付をいただいた方に対して、感謝状「みどり」を発行しています。こちらではその贈呈者の方々の募金活動のいくつかをご紹介します。

東京ガス株式会社 環境エネルギー館 (神奈川県横浜市)

横浜市鶴見区にある東京ガス株式会社の環境エネルギー館は、子どもたちの豊かな感性から生まれる「センス・オブ・ワンダー(不思議に思う心)」を大切に、見て触れて、参加できる学びの場です。

「地球大好き人間」の輪を広げることをコンセプトメッセージに掲げる環境エネルギー館では、1階のエントランスホール受付と2階の環境情報センターのカウンターに地球環境基金の募金箱とパンフレットを設置し、募金活動へご協力をいただいております。(平成22年7月12日贈呈)



株式会社永代運輸倉庫

(京都市伏見区)

株式会社永代運輸倉庫(本社:京都市伏見区)は、“環境に対しての一人一人の小さな意識が環境維持につながる”この言葉を理念として、京都府、滋賀県を中心に100%リサイクルを目指したガラス瓶や廃蛍光灯の収集・運搬を行っています。同社からは、廃蛍光灯の収集運搬費の一部を地球環境基金にご寄付いただいております。(平成22年2月12日贈呈)



廃蛍光灯をリサイクル施設に運搬します

※感謝状「みどり」贈呈要件 **個人**: 地球環境基金に累計で5万円以上のご寄付をしてくださった方。 **団体**: 地球環境基金に累計で10万円以上のご寄付をしてくださった団体。(2009年10月以降、入金が確認された方から随時発行しております。)

この他にも、感謝状「そら」をご用意しております。 感謝状「そら」贈呈要件 **個人**: 地球環境基金に累計で20万円以上のご寄付をしてくださった方。 **団体**: 地球環境基金に累計で50万円以上のご寄付をしてくださった団体。